

愛媛県立松山南高等学校 野球部



更新履歴	
6/25	チームデータ、組合せ報告を更新しました

チームスローガン

躍

個性を發揮し、
アグレッシブな野球を！

【組合せ報告】第106回全国高等学校野球選手権記念愛媛大会の組合せが決まりました！ **NEW**

6月23日（日）に第106回全国高等学校野球選手権記念愛媛大会の組合せ抽選会が行われました。

本校は、7月15日（月）に丸山運動公園野球場で野村高校(10:00PB)と対戦します。応援よろしくお願いします。



夏の甲子園へ 48チーム激突

高校野球愛媛大会 組み合わせ決まる 来月13日開幕

第106回全国高校野球選手権愛媛大会（7月13日開幕）の組み合わせ抽選会が23日、松山市のにぎたつ会館であり、出場55校48チームの対戦相手が決まった。7月27日までの12日間、坊っちゃんスタジアムなど4球場で甲子園出場を懸けて戦う。

開幕ゲームは土居・西条農一・大洲に決まった。各チームの主将が順に番号札を引き、開会式での選手宣誓を引き当てる。今年出場チーム数が49年ぶりに50を割り込んだ。10校が三つまた瞬間は「決まったが、やるぞ」という心境に変わってきている。愛媛の選手を代表し、集大成の大会に挑む思いを込めたい」と話した。

連は大会期間中、土日曜などの試合に県内の少年野球チームを招待する。「高校野球の雰囲気じかに触れ、憧れを抱いてもらいたい」とした。熱中症対策として5回終了後にグラウンド整備の時間と合わせ12分間の休憩を設ける。19日が休養日、24、26日は予備日。順調に日程を消化すれば、決勝は27日午前10時から坊っちゃんスタジアムで実施する。

（門屋駿介）



抽選で引いた番号を読み上げる出場校の主将
＝23日、松山市のにぎたつ会館

松山商と今治西リード

Bブロックに 最激戦区に

昨年秋と今春の県大会を制した第1シードの松山商と、昨夏の準優勝メンバーが多く残る第2シード今治西の2強が一歩リード。松山商は2001年以来23年ぶりの甲子園切符

をつかめるかどうかにも注目が集まる。シード4校は、いずれも序盤で実力校との対戦が予想される。2回戦から登場のチームが増えたことで、シード校の日程的な利点が薄まっ

ている感もあり、優勝争いは混沌（こんとん）としそうだ。Aブロックは3年生の好投手を擁するチームが並ぶ。県内公式戦負けなしの松山商はエース林を中心に堅守を

誇る。帝京第五は右投手の竹村（宇和）は渡部、二宮の両右腕に力がある。春の選抜大会21世紀枠最終候補に選ばれた大洲は宮内、北宇和は昨夏初戦で15奪三振完投した佐々木の出来が鍵を握る。

をつくる春の県大会ベスト4の西条、強肩強打の捕手相曾を擁する松山学院、夏2連覇を目指す川之江などがしのぎを削る。エースは2回戦から登場する。Cブロックは第2シード今治西が軸。左腕渡地、主砲の長田ら経験豊富な選手が多く、昨夏の決勝サヨナラ負けの雪辱に燃える。昨秋の県大会3位の宇和島東は菊沢、川口の2年生投手に注目。スラッガー河野のいる聖カタリナ学園、左の兵庫、右の丸矢ら投手力の高

い松山聖陵も甲子園を目指す。秋春とも県大会に進んだ三島も勝ち上がりを期する。Dブロックは春の県大会準優勝でシードに入った済美が優勢。大塚、小笠原ら3年生が下級生主体のチームをけん引する。昨夏、シード校を破った今治工や41年ぶりの8強入りに貢献した左腕伊達が残る内子が今年も台風の目となるか。投手がしっかりしている松山北や松山工のほか、松山南、東温、野村なども侮れない。

（門屋駿介）

「夏の甲子園へ 48チーム衝突」

2024年6月24日付愛媛新聞

（掲載許可番号：d20240625-01）

【チームデータ】

●部員数（2024/6/1現在）

- ・1年生 選手 13名 マネージャー 1名
- ・2年生 選手 5名
- ・3年生 選手 18名 マネージャー 2名
- 合計 選手 36名 マネージャー 3名

●活動時間

- ・平日（火～金） 授業終了後～19:00（19:30完全下校）
※原則月曜日は休養日
- ・休日（練習時） 13:00～16:30（17:00完全下校）

●年間スケジュール

- ・7月 夏の大会
- ・8月 新人戦
- ・9月 秋の大会
- ・10月 NEWS杯
- ・3月 春の大会

